

JAMトピックス

JAM第25回定期大会

郡山りょう 必勝態勢を確認 安河内・中井体制 再任

(撮影 下写真とも… 松原勇太カメラマン)



安河内賢弘会長(左)と必勝を期してガッツリ握手する「郡山りょう」JAM組織内候補予定者(右)

JAM第25回定期大会が8月31日・9月1日の二日間、静岡市「ツインメッセ静岡」で開かれた。全対面による開催は4年ぶり、代議員・特別代議員401人、来賓、傍聴、役員など総計628人が参加した。

本大会は役員改選期で、安河内賢弘会長、中井寛哉書記長、川野英樹・椎木盛夫副書記長の専従三役は再任され、3人の副会長、13人の中央執行委員・会計監査が新任された。

第1号議案の「2024・25年度運動方針」では、労働組合の活動の原点となる職場に関する取り組みとして、「雇用の確保」、「集团的労使関係の強化」、「ブラック企業対策」などについて満場一致で確認された。

第4号議案「政策実現活動」では、本年5月開催の第42回中央委員会で2025年参議院議員選挙候補予定者として擁立決定した「郡山りょう」の必勝取り組み「郡山りょう推進計画 Vol.1」が提起され、代議員5人から、

「背水の陣の覚悟を持って、これまでにない取り組みを早急に推進し、必勝態勢で臨むべき」などと質問・意見が出され、賛成多数で可決された。

他、一般活動報告、会計決算・監査報告と10本の議案は満場一致で確認された。

来賓として、連合・清水事務局長、JCM・金子議長、基幹労連・神田委員長、JAM準組織内議員の村田享子参議院議員、森本真治参議院議員から、激励のあいさつを受けた。



郡山りょう 必勝に向けて団結ガンバロー